

だ 議 よ り 会

発行/秩父別町議会
編集/町議会広報特別委員会
TEL/0164-33-2111
(議会事務局 内線25・26)



小学校交通安全学習(4月16日)

平成30年第1回定例会 3月8日~9日

平成30年度一般会計予算 **28億2,835万円**

支出(歳出)			
公債費	5億2,740万円	5.7%	減
職員費	4億3,094万円	2.0%	増
民生費	3億8,395万円	2.5%	増
総務費	3億2,914万円	45.6%	減
農林水産業費	2億5,406万円	2.4%	増
商工費	2億2,725万円	16.1%	減
土木費	2億1,306万円	9.5%	増
教育費	1億8,146万円	19.5%	減
その他	2億8,109万円	-	-

収入(歳入)		
地方交付税	13億3,000万円	増減なし
繰入金	4億3,160万円	6.1%増
町税	2億3,985万円	1.5%減
町債	1億9,450万円	66.3%減
道支出金	1億7,783万円	3.4%増
寄附金	1億5,000万円	50.0%増
国庫支出金	9,077万円	12.4%減
使用料及び手数料	6,992万円	2.5%増
その他	1億4,388万円	-

各特別会計予算額			
介護保険特別会計	3億583万円	農業集落排水事業特別会計	9,504万円
国民健康保険事業特別会計	3億9,761万円	簡易水道事業会計	9,693万円
後期高齢者医療特別会計	4,796万円		

**平成30年度
予算決まる**

平成30年第1回定例会が3月8日から9日までの日程で開催され、平成29年度の補正予算4件、条例の改正等9件、平成30年度一般会計予算、特別会計予算5件、人事案件3件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、神薮町長から平成30年度行政執行方針が、西田教育長からは教育行政執行方針がそれぞれ表明されました。その後大野議員が一般質問を行い理事者の考えを質しました。

平成30年度の予算審議にあたっては、全議員による「予算審査特別委員会」を設置し、委員長に本村修二議員、副委員長に畑田寿議員を選出し、各会計予算の内容に関して活発な質疑がなされました。

その結果、予算審査特別委員会に付託された、平成30年度各会計予算は、原案どおり決定し成立しました。

予算審査特別委員会の質疑

平成30年度予算案を審査するため、予算審査特別委員会を設置し、3月8日から2日間、審査を行いました。特別委員会での質疑応答の主なものは次のとおりです。

【質問】 火災報知器について、過去に助成があったが、現在どのような啓蒙普及を行っているか。

【答弁】 平成29年3月末現在で世帯数の84・2%が設置しています。

補助を出してから、10年が経過しているため、機器本体の交換を啓発する内容の広報を出したところです。

【質問】 Jアラートのシステム更新とあるが。

【答弁】 システムの更新は、全国一斉更新するもので、今までは大雨とその他の2区分だったものが、大雨、高潮、波浪、大雪、暴風雪と分けて警報が出るものです。

【質問】 今年から「なるほどなっとく」が無くなり、広報誌、ホームページ等で町民にお知らせをするとのことであるが、どの程度まで広報誌に載せるのか。

【答弁】 予算の関係については事業の紹介ページとして掲載し、中でも新規及び政策的な事業については、詳細に紹介をしていきます。

【質問】 消防小型ポンプの積載車を入れ替えるところがあるが、価格が高くないか。

【答弁】 20年以上経過した車両を更新するもので、ポンプは更新しません。

消防関係の車両ですので塗装や臓装、各種付属品の取り付け等で高くなっています。

【質問】 ドローンを導入することのことだが、どのような機体か。

【答弁】 航空法の適用外と

なる小型サイズのもので、カメラは1,300万画素、動画はフルHDとなっています。映像、写真を積極的に使い、町をPRしていきたいと考えています。

【質問】 インバウンド事業の内容説明を。

【答弁】 昨年11月観光プロモーションのためタイに行き、本町のPRを行ってきました。その際日本でも働きたいという方がいまして、4月から採用できるよう準備を進めています。

具体的には本町でできる日本文化の体験、滞在交流型のいろいろなメニューを体験していただいて、タイ等に情報発信をし多くの方を呼び込みたいと考えています。

住居につきましては、昨年、国際交流移住体験住宅を2戸整備しましたので、その一つを活用します。

【質問】 防犯カメラを2台設置とあるが、場所はどこになるか。またどのようなカメラか。

【答弁】 キュービックコネクションの外灯が7塔設置されますが、そのうちの2カ所に設置します。

【質問】 移住体験モニター動画を制作し若手芸人が出演するという内容は。

【答弁】 吉本興業所属の芸人2名が2か月間、本町に居住して、職場体験や観光施設等、本町を体験してその動画を発信していきます。

滞在期間は9月1日から10月31日までですが、動画制作は5月から10月の間で、イベント等に合わせて別途、来町されます。

【質問】 宅配食事サービスについて。

【答弁】 対象者は概ね65歳以上、独居または高齢者の世帯で非課税の方を対象とします。内容は昼食、夕食の宅配サービスを民間事業者に委託し、その費用の2分の1を補助します。



【質問】障がい者施設に町民の採用は何名か。

【答弁】1棟目のスタッフにつきましては、町民3名です。新しい棟につきましては、まだ決まってはいませんが町内の方を雇用していただけるようお話をさせていただきます。



【質問】老人福祉タクシー助成について、交付状況は。

【答弁】交付対象者は1,175名、配布者は787名、配布率が67%となり、393名の方が利用されました。

【質問】高齢化が進む中で今後の農地の売手、買手のバランス等については、どのように考えているか。

【答弁】農業委員会の制度が変わり、あつせん調整は、20年、30年先と将来を見据えた中でのあつせんとなるよう、協議していきたいと考えています。

もう一つの柱は、後継者をいかに育てていくかを委員会として考えていきます。

【質問】くくりわなの免許の取得状況と有害鳥獣の被害額は。

【答弁】くくりわなの免許取得者は4名です。なかなかうまく捕れないというのが現状です。

被害額は平成28年ですが146万9千円です。鹿の捕獲頭数は平成29年に9頭、平成28年は3頭です。

【質問】産業後継者育成推進協議会の活動状況は。

【答弁】婚活事業と農業体験生の受入を行っています。農業体験生は平成29年の

実績はありませんでした。婚活事業につきましては、札幌市にて開催し、町内の男性6名が参加しました。

【質問】汚泥の肥料配送という事であるが、1袋100円高くなるのか。

【答弁】取りに來られても配送しても、1袋400円という事になります。



【質問】児童各種検定交付金について。

【答弁】小・中学校ともに漢字検定、数学検定、英語検定が受験可能です。さらに年2回まで同一の級を受験可能としているほか、標準的なレベルを受験するのであれば、町内での受験が可能となります。

3月議会で決定されたその他の事項

○平成29年度補正予算

今期定例会において各会計予算の補正が審議され可決されました。

一般会計の補正額は、230万円を増額し、総額32億3,696万円となりました。

また、特別会計においては、増額及び減額補正されました。

○条例の制定等

- ・定住自立圏形成協定を締結するにあたり、当該協定の締結又は変更等について議会の議決事項とすることの条例が制定されました。
- ・行政手続きを電子情報処理組織を利用する方法等の条例が制定されました。
- ・介護保険法が改正されたことによる支援等に関する条例の制定と、他介護保険条例の一部が改正されました。
- ・国民健康保険事業の都道府県単位化により財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の改正及び国民健康保険条例の一部が改正されました。

○人事案件

【教育長】

(旭町内)
小林 宏明 氏 (新任)
昭和33年1月27日生

【公平委員】

(北新町内)
山田 憲正 氏 (再任)
昭和22年8月5日生

(筑紫町内)

塩谷 一美 氏 (新任)
昭和47年5月23日生



一般質問

(質問と答弁の内容を要約してお知らせします)



【大野議員】

本年は、例年にも増して降雪量が多く、冬季の除雪や排雪作業は、体力の衰えた高齢者にとって大変な重労働であります。

こうした作業に限界を感じた高齢者の中には、住み慣れた町を離れ、子供の近くや近隣の老人ホーム等に引っ越す方もいます。

問	答
高齢者世帯に対する除雪、排雪費用の助成について	高齢者の生活を支える仕組みを検討していきたい

町民の4割が65歳以上と高齢化が進んでいる本町において、人口の減少をくい止めるためにも、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることへの取り組みが極めて重要です。

そこで高齢者世帯に対する屋根雪除雪制度について、高齢者のニーズを聞き、排雪や雪の後始末等も含めて、その費用の一部を助成するなどの対策が必要であると思いますが、町長のお考えを伺います。

【神薙町長】

本町の高齢化率は、平成

29年4月現在で、41%と全国平均よりも高く、また、団塊の世代が後期高齢を迎える2025年を見据えると、更に高齢者世帯の比率が増加していくことが予想されます。

このことから、町といったしましても高齢者が住み慣れた地域で健康で生き生きと安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を図り、包括的に高齢者福祉施策を展開しているところであります。

雪対策については、家屋、土地等の所有者が自ら対応することが原則であると考えますが、経済的、体力的に課題を抱えている世帯があることも承知しております。高齢で身体虚弱なお年寄りにとって除雪は大きな負担であることから、平成12年から高齢者への除雪サービスを社会福祉協議会に委託して実施しております。その対象者は、身体虚

弱で、経済的にも除雪の委託が困難な高齢者世帯に除雪ヘルパーを派遣し、玄関から道路までの生活道路を除雪するもので、町は利用料の7割を助成し、現在25名の方が利用されております。

この他に、大雪であった平成28年2月に空知管内において、自宅の屋根雪下ろし中の事故が多発しているとの報道を受け、住民の安全、安心を守るため、高齢者に対する屋根雪下ろし助成を創設したところであります。この制度設計に当たっては、その目的が転落事故防止と家屋倒壊であることを考慮し、高齢者であ

ればだれでも広く利用可能としました。

また、助成の範囲については、自らの費用等により排雪を行っている方や融雪槽を設置している方もおり、不公平感を生じないよう、屋根の雪下ろしのみとし、年間2回まで利用可能としたところであります。

今後、高齢者福祉の増進を図っていく上からも、町内会長会議等を通して住民ニーズを的確に把握し、町の雪捨て場の開放等、個人の排雪の支援など、高齢者の生活を支える仕組みを検討して参りたいと考えています。



問

遊戯施設周辺の安全対策について

答

防犯カメラを設置するほか、不測の事態を防ぐ方法を引き続き検討

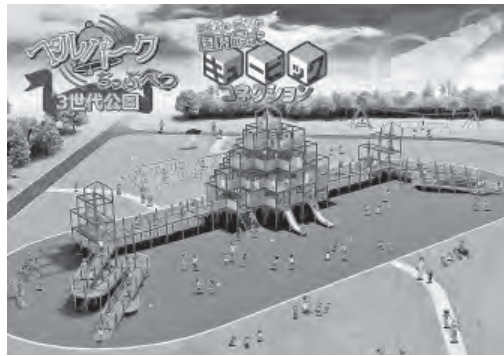
【大野議員】

本町の遊戯施設は、交流人口の拡大という点で、町の活性化と経済発展につながり、地域振興に大いに役立っていますが、反面、何らかの事件、事故により、遊戯施設としての安全性が脅かされると、直ちに利用者の減少につながります。

特に、遊戯施設は子供を遊ばせるところであり、安全を最優先しなければなりません。

遊具の不具合や脱落防止ネットの展張等、事故が起きる前に具体的な安全対策が求められます。

そこで、遊戯施設周辺の安全に関し、現在どのような対策を行っているのか、また、今後どのような対策を考えているのかお伺いいたします。



【西田教育長】

昨年オープンした「キッズスクエアちつくる」は、道内各地から多くの家族連れに利用していただきました。また、本年7月には屋外遊戯場がオープンすることから、これまで以上の来場者が見込まれます。現在、「ちつくる」の管

理運営については、指定管理者である秩父別振興公社が行っておりますが、不測の事態を最大限防ぐことも含めて、管理人を平日の1名から、休日及び子供の長期休み期間には2名を常駐させ、利用者数などの状況に応じた安全な施設管理に努めております。

また、施設内のネット遊具等の点検につきましては、毎日管理人が点検を行い、さらには遊具業者による総合点検を毎月実施しています。

一方、連絡通路の安全対策につきましては、ミニゴルフ場との境にネットを敷設したほか、春先にカラスが利用者を威嚇したことから単の除去など、キャンプ場も含めて利用者の安全確保に努めています。

本年7月にオープンします屋外遊戯場の防犯対策につきましては、防犯カメラ2台を設置する予定です。また、「キュービックコネクションは、「ちつくる」同様に日本公園施設業協会が定める安全基準を満たし

てはいるものの、屋外遊戯場の管理については利用者の安全面を優先した、より慎重な検討が必要であることから、施設工事が進んだ後に、現物の大きさや周辺の状況を再確認した上で検討します。

いずれにしても、ベルパークゾーンの各施設の安全を図るため、道内の公園の管理方法なども参考にしながら、改めて施設管理にかかる提案をさせていただきます。

所管事務調査の申し出

議会閉会中の所管事務調査について、総務経済常任委員会及び議会運営委員会から、次のとおり申し出がありました。

- 総務経済常任委員会
 - ・ 国民健康保険事業の概要について
 - ・ 企画課所管の指定管理施設の状況について
- 議会運営委員会
 - ・ 次期町議会（定例会までの臨時会を含む）の運営について

今年度の主な事業

- ・ インバウンド事業臨時職員移住モニター動画制作
- ・ 屋外遊戯場防犯カメラ2台設置
- ・ 小型ドローン導入
- ・ 新築住宅建設事業補助金
- ・ ファイターズ応援大使関連事業
- ・ 町有地宅地分譲事業
- ・ 定住促進賃貸住宅建設事業補助
- ・ 保養研修施設2号源泉湯設備
- ・ 保養研修施設送迎車両更新
- ・ 障がい者施設建設補助金
- ・ 子育て支援センター事業
- ・ 宅配食事サービス補助
- ・ タクシー助成拡大
- ・ 高齢者グループハウス屋上防水補修
- ・ 施設園芸用ハウス導入補助金
- ・ ちつぶべつスタンプ会
- ・ カード印刷機更新補助金
- ・ 町道1条路線舗装修繕
- ・ 消防用小型動力ポンプ積載車更新
- ・ 小・中学校各種検定料交付金

みんなの声



筑紫町内
岡田 裕也 さん

私は、家業である飲食店の後継者として秩父別町に帰ってきました。町に帰ってきて感じたのが、飲食店を経営していくことの難しさです。人口の少ない町の中で、どのような事をすれば店を利用してもらえるかを常に考えさせられます。

現在は、町の助成や商工会の支援を受けながら、店の改装を考えており、特産品を使ったメニューの開発もしていきたいと思います。

私生活では、4月から子供が秩父別小学校に通っていますが、転入前に見学に訪れた際は、校舎がとても綺麗で子供たちが楽しく学習できる空間だと感じました。

町の子育て支援も充実しており、心強い思いで子育てができるほか、町民の方も良い人ばかりなので、安心して子供を外で遊ばせてあげられます。

昨年完成した屋内遊戯場「キッズスクエアちっくる」は、遊具の安全面に配慮されており、子供も毎日遊びに行っています。7月には屋外遊戯場もオープンすると聞いていますので、安心して安全に遊べる空間となることを願っています。

議会を傍聴してみませんか

第2回町議会定例会は、6月上旬に予定されています。当日の受付で傍聴できますので、開催当日に役場2階傍聴席入り口にお越しください。

お問い合わせ

秩父別町議会事務局

電話 33-2111


(内線 25・26)

(藤岡)

議会の主な動き

〔2月〕
1日 平成30年第1回空知町村議会議長会定期総会
11日 建国祭・屯田会総会
26日 交通安全協会総会
28日 まとい会総会

〔3月〕
1日 町政討論会
8日 議会運営委員会
12日 全員協議会
14日 第1回町議会定例会（59日）
16日 広報特別委員会
17日 中学校卒業式
18日 農民協議会総会
19日 農業再生協議会臨時総会
20日 小学校卒業式
27日 自由民主党秩父別支部定期総会及び
渡辺孝一 国政報告会



〔4月〕
5日 第1回町議会臨時会
23日 第4回社会福祉協議会評議委員会
22日 各一部事務組合議会定例会
20日 建設業協会総会
19日 広報特別委員会
12日 小学校・中学校入学式
15日 退任議員親睦会総会
18日 商工女性部総会
20日 祈年祭
25日 商工青年部総会
26日 空知町村議会議長会第2回役員会
27日 観光協会通常総会
道の駅ちっぷべつ事業組合第13回
通常総会
総務経済常任委員会・所管事務調査
第2回町議会臨時会

編集後記

・気温差30度

4月11日、未だ雪の残る秩父別町へ、タイから臨時職員が着任した。

ペミカ・カンチャノータ イさん愛称「アン」

彼女の仕事は、町が掲げる外国人観光客の誘致事業で、インターネットや人脈などを通じて幅広く地域の情報を発信し誘致につながり、ホームステイや留学、通訳などの仕事を経験してきた彼女、日本語は日本人以上！

・平昌オリンピック
カーリングでは、「そだね〜」ふんわりした北海道弁が話題になった。

「もぐもぐタイム」も注目された。イチゴやケーキなど美味しいものを食べることで緊張緩和になり、長い連戦を勝ち抜き史上初の快挙となった。

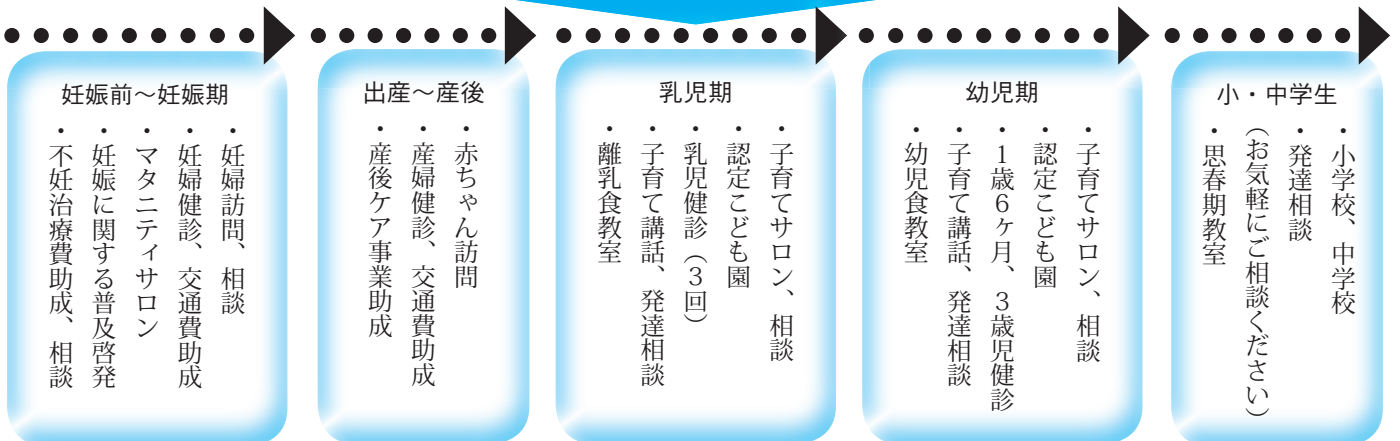
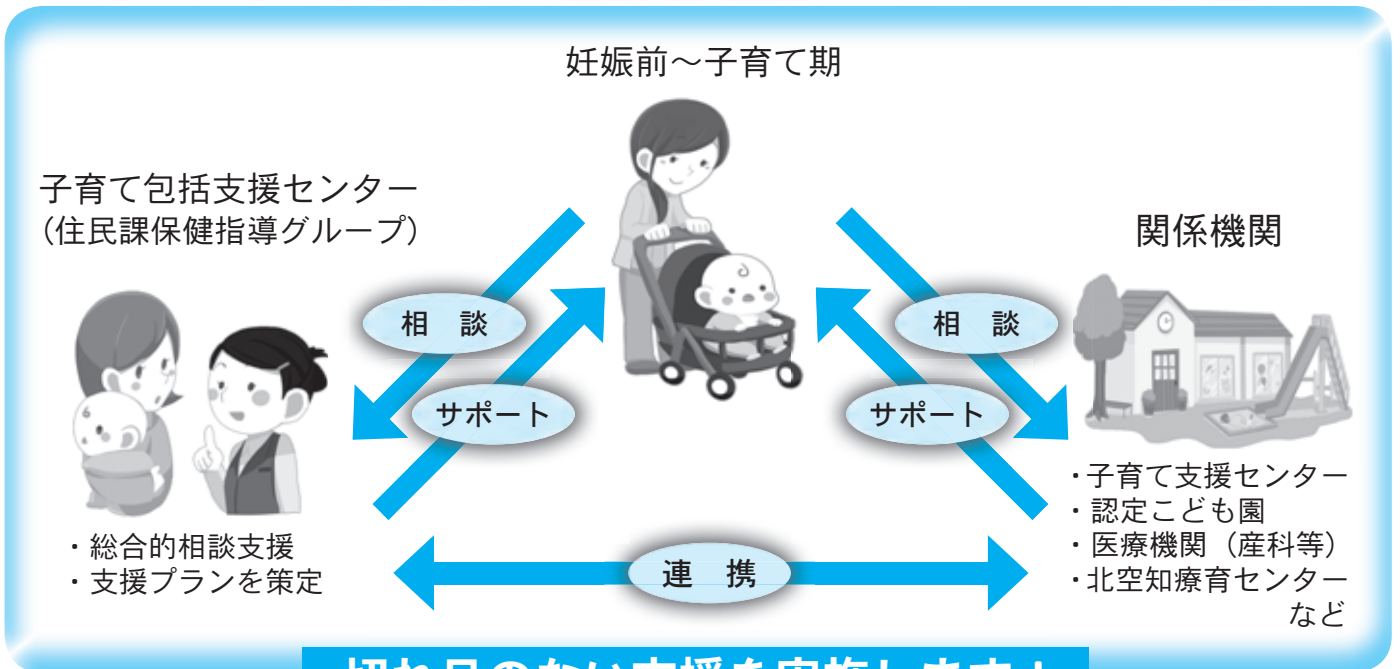
私たち議員も、ONとOFFのバランスをとり、任期の最終年を意欲的に取り組んでいきたい。

子育て包括支援センター が始まりました！

平成30年度より、妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談に対応し、必要なサポートを紹介する、子育て包括支援センターを開設しました。

町ではこれまでも、妊娠前から子育て期の親子の皆さんと訪問や来所等の機会に保健師が関わらせていただいていた。今後も、皆さんに笑顔で充実した子育てをしてもらえるように、子育て相談日の機会を増やすなどサポート体制を充実し、それぞれの親子の皆さんに合ったサポートをしていきます！

秩父別町子育て包括支援センターの仕組み



お問い合わせ 役場住民課保健指導グループ 電話 33-2111（内線49）